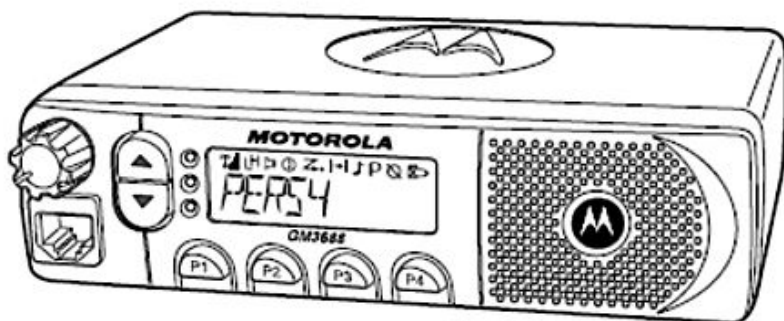
一般業務／複数波簡易無線対応
車載型無線機

GM3688

取扱説明書

コンピュータソフトウェア著作権

本書に掲載中のモトローラ社製品は、著作権で保護されたモトローラ社コンピュータプログラムを、半導体メモリまたは他の媒体に搭載し、内蔵している場合があります。これらのコンピュータプログラムに関して、いかなる形式による複製・再生を含む（ただし、これらに限定されない）モトローラ社の排他的権利は、アメリカ合衆国および他の国の法律によって留保されています。モトローラ社の文書による許可なく、本書に掲載中のモトローラ社製品に含まれる、著作権で保護されたモトローラ社コンピュータプログラムの複製、再生、改作、リバースエンジニアリング、配布は、形式を問わず禁止されています。また、モトローラ社製品の販売において、法律により発生する通常の非排他的使用を除いて、明示的に、暗黙に、禁反言によるものその他を問わず、著作権、特許、または特許出願のいかなる使用も許諾されていません。

はじめに

このたびはモトローラの車載型無線機「GM3688」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はGM3688の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

・通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行なうときはこのような制限はありません。
・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
・本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ **警告**	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠ **注意**	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。

安全上のご注意

製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射の適合

注 意

この無線機の使用は、アメリカ連邦通信委員会（FCC）の定めるRF（高周波）エネルギー照射の基準を満たす業務目的に限られています。この無線機をご使用になるまえに、製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射に関する添付冊子に記載されているRF（高周波）エネルギー認知情報および操作説明を必ずお読みください。

モトローラ承認済みのアンテナ、バッテリ、およびその他のアクセサリ一覧については、承認済みアクセサリを掲載している次のウェブサイトを参照してください。

http://www.motorola.com/cgiss/index.shtml.

◎ 異常に温度が高くなるところや、直接雨や水のかかる場所に設置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

◎ 直射日光のあたる所や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

◎ 本機の取付け、配線は、お買い求めの販売店へご依頼ください。

◎ 接続端子に金属片等が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になる場合があります。

◎ 強い衝撃をあたえないでください。

目次

●はじめに
●安全上のご注意
●製品および付属品の確認 ……………………………6
●各部の名称と機能 ……………………………………8
●無線通信の基礎知識 …………………………………9
●電源を入れる／切る …………………………………10
○電源を入れる／切る ……………………………………10
○受信音声出力を調整する ………………………………10
○チャンネルを選択する …………………………………11
●相手を呼び出す ………………………………………12
●応答する ………………………………………………13
●モニター操作を行う …………………………………14

応用機能

●LED表示部 ……………………………………………18
○表示部 ……………………………………………………19
●キーパッドマイクロホン（オプション）………………21
●インジケータートーンの種類 ………………………23
●プログラムボタンを使う ……………………………24
●プログラムボタンの機能 ……………………………26
●メニューナビゲーションチャート …………………28
●メニューボタンの種類 ………………………………30
●ホーム復帰メモリーチャンネルを起動する …………31
●メモリーチャンネルを設定する ……………………31
●VOX機能を使う ………………………………………32

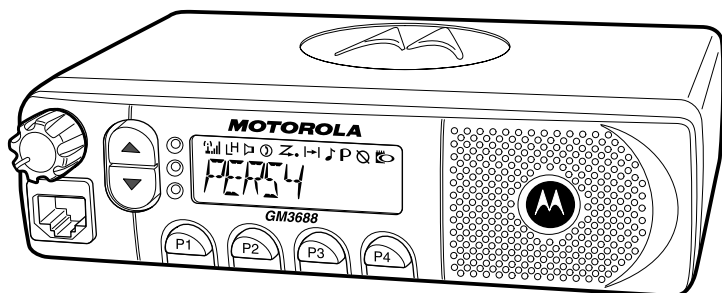
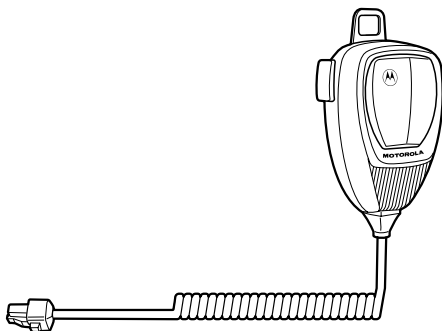
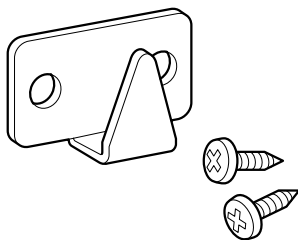
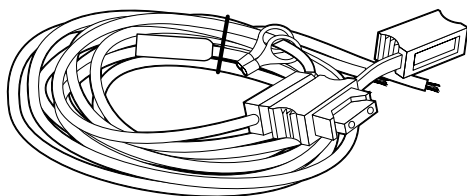
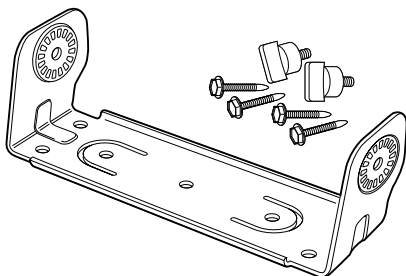
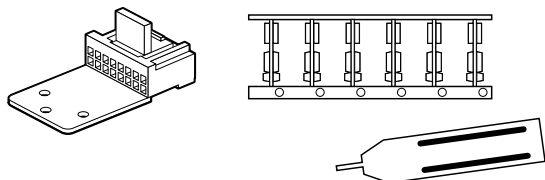
●無線機の各種呼び出し 一般 ……………………………33
○個別呼び出しを受信する ……………………………………33
○個別呼び出しを送信する ……………………………………33
○鳴音呼び出しを受信する ……………………………………35
○鳴音呼び出しを送信する ……………………………………35
●無線機の各種呼び出し（簡易グループコードを使用）…37
○個別呼び出しを受信する ……………………………………37
○一斉呼び出しを受信する ……………………………………37
○個別呼び出しを送信する ……………………………………38
○鳴音呼び出しを受信する ……………………………………39
○鳴音呼び出しを送信する ……………………………………40
○ラジオチェックを行なう ……………………………………42
●エマージェンシー信号 …………………………………44
○エマージェンシー信号を送信する …………………………44
○エマージェンシー信号をクリアする ………………………44
●スキャンを使う …………………………………………45
○システムスキャンを開始する ………………………………45
○システムスキャンを停止する ………………………………46
○オートスキャンを開始する …………………………………47
○オートスキャンを停止する …………………………………47
○不要チャンネルを削除する …………………………………48
○削除チャンネルをスキャンリストに戻す …………………48
○スキャンリストを編集する …………………………………49
○チャンネルを追加または削除する …………………………49
○チャンネルに優先順位を設定する …………………………51
●アラートトーンを設定する ……………………………54
○アラートトーンのオン／オフ ………………………………55
○キーパッドトーンのオン／オフ ……………………………56
○アラートトーンの指定 ………………………………………57

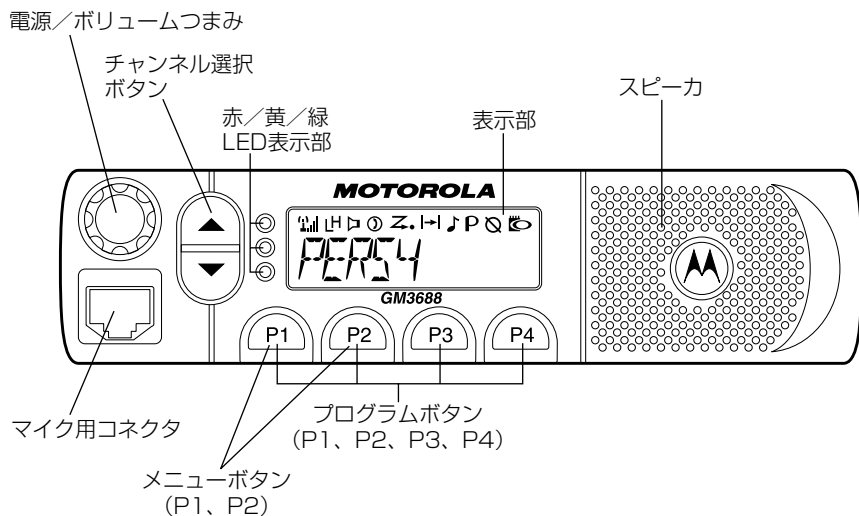
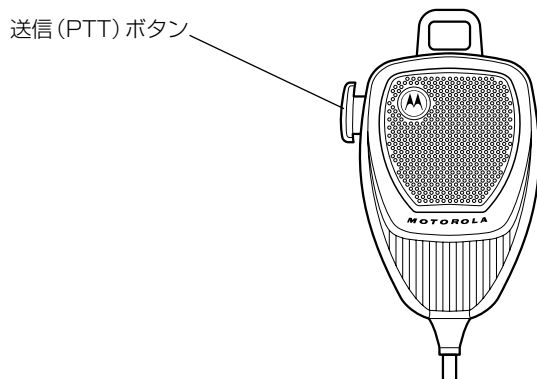
○エスカレートアラート …………………………………………59
●ユーザー設定を行なう ……………………………………60
○スケルチレベルを設定する ………………………………61
○出力レベルを設定する ……………………………………62
○バックライトの明るさを設定する ………………………64
○ソフトウェアバージョンを表示する ……………………65
●アフターサービスについて …………………………66

製品および付属品の確認

車載型無線機

はじめに無線機本体と付属品を確認してください。

●無線機本体

●マイク

●マイクハンガー

●ケーブル

●取付金具キット

●アクセサリーコネクタキット

●取扱説明書（本書）

各部の名称と機能

マイク

無線通信の基礎知識

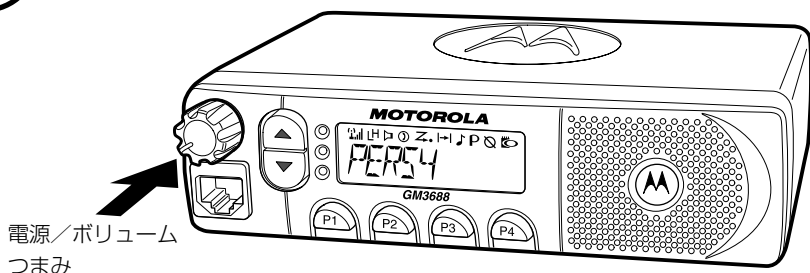
●トーンスケルチについて

トーンスケルチとは、音声信号と一緒に特定のトーン周波数を発信し、このトーン周波数を受信できるグループ内でのみ通信できるように、通信対象を限定する機能です。
トーンスケルチを使って通信すると、同一の周波数で運用されている他のグループとの混信を防ぐことができます。

●話中ランプ方式

話中ランプ方式とは、トーンスケルチを使用している無線グループにおいて、同一周波数で異なったグループの他局が通話しているかどうかを確認する方式の一つです。
話中ランプ方式が設定されている無線機では、異なったグループの他局が通信している時、LED表示部が赤色に点滅します。（話中ランプ）

工場出荷時は、話中ランプ方式で出荷されます。話中ランプ方式からマイクフック方式へ変更される場合はお買い求めの販売店までご相談ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源／ボリュームつまみを時計方向に回します。
セルフテスト終了の音（ピピッ）が出力され、緑色のLEDが一瞬点灯します。その後、チャンネルが表示されスタンバイの状態になります。

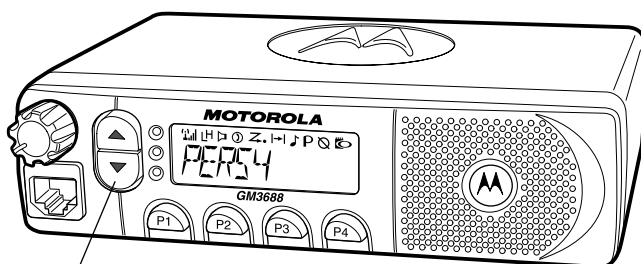
立ち上がりに異常が発生した場合は、“ブーー”音が出力されます。
この場合、もう一度電源を入れ直してください。

電源を切る

電源／ボリュームつまみを反時計方向に“カチッ”と音がするまで回します。LEDおよび表示部が消灯し、無線機の電源が切れます。

受信音声出力を調整する

電源／ボリュームつまみを時計方向に回すと音量が大きくなります。
電源／ボリュームつまみを反時計方向に回すと音量は小さくなります。

③ チャンネルを選択する

チャンネル選択ボタン ▲ （又は ▼ ）を押して希望するチャンネルに設定します。（最大64チャンネル）

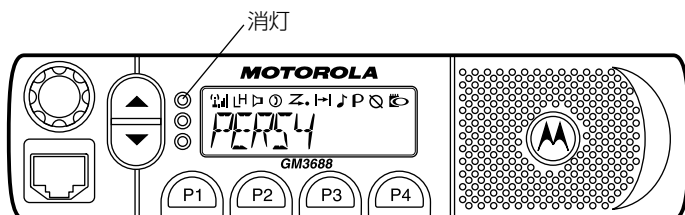
相手を呼び出す

同じ周波数／トーン信号に設定されているすべての無線機を呼び出します。

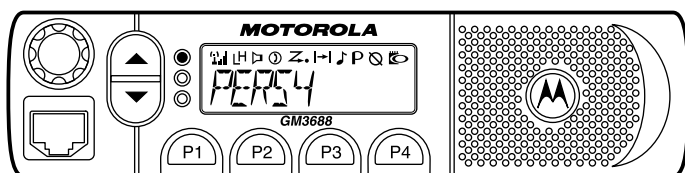
注意 呼び出すことができるのは、あらかじめ同じグループとして同じ周波数／トーン信号に設定されている無線機です。

補足 キャリアスケルチモデルでは、トーン信号は設定されていません。

LED表示部が消灯していることを確認します。

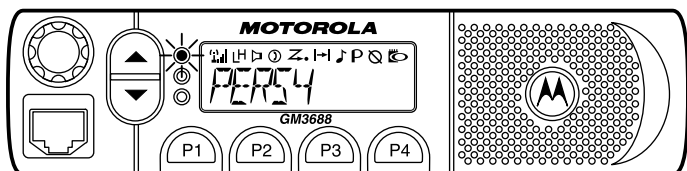
同一周波数を使用している他局が交信しているとLED表示部が赤色に点滅します。（話中ランプ方式）

注意 他局が交信しているときに送信すると混信の原因になり、他局の交信を妨害すると同時に自局も正確な交信ができなくなります。

<送信ボタン>を押して相手を呼び出し、通話します。

マイクの<送信ボタン>を押しながら話し、ボタンから指を離して相手の話を聞きます。送信中はLED表示部が赤く点灯します。

応答する

同じ周波数／トーン信号に設定されている無線機からの呼出しに応答できます。

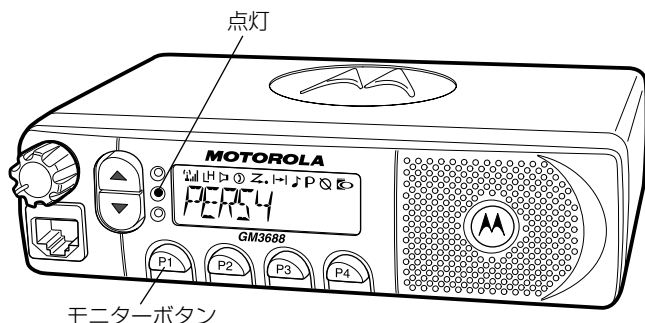
呼出しを受けると、相手の声が聞こえます。

受信中はLED表示部が赤く点滅します。

＜送信ボタン＞を押して相手を呼び出し、通話します。

マイクの＜送信ボタン＞を押しながら話し、ボタンから指を離して相手の話を聞きます。送信中はLED表示部が赤く点灯します。

トーンスケルチが設定されている場合、正規のトーン信号を受信しないとスピーカからは何も聞こえません。

モニター操作を行う

送信操作を行う前には必ず、通話するチャンネルで他の人が通話を行っていないことを確認する必要があります。

モニター用に設定されたプログラムボタン（P1）を短押しすると、“ピッ”音と共にLED表示部が黄色に点灯しモニターモードに設定されます。

この状態はモニターの解除操作を行うまで保持されます。

モニター状態を解除するには、再度モニターボタン（プログラムボタン）を押します。

“ピッ”音と共にLED表示部の黄色が消灯し無線機は通常のモードに戻ります。

無線機のスケルチを解除するには、モニターボタン（プログラムボタン）を“ピッ”音が聞こえるまで（1.5秒以上）押し続けます。

スケルチが解除されスピーカより雑音が出力されます。

スケルチが解除された場合にはLED表示部が黄色に点灯します。

通常モードに戻すには、モニターボタン（プログラムボタン）を短押しします。（LED表示部の黄色が消灯）

応用機能

機能の設定または変更については、お求めの販売店までご相談ください。

目次

●LED表示部 ……………………………………………18
○表示部……………………………………………………19
●キーパッドマイクロホン（オプション）………………21
●インジケータートーンの種類 …………………………23
●プログラムボタンを使う ………………………………24
●プログラムボタンの機能 ………………………………26
●メニューナビゲーションチャート ……………………28
●メニューボタンの種類…………………………………30
●ホーム復帰メモリーチャンネルを起動する …………31
●メモリーチャンネルを設定する ………………………31
●VOX機能を使う ………………………………………32
●無線機の各種呼び出し 一般 …………………………33
○個別呼び出しを受信する………………………………33
○個別呼び出しを送信する………………………………33
○鳴音呼び出しを受信する………………………………35
○鳴音呼び出しを送信する………………………………35
●無線機の各種呼び出し（簡易グループコードを使用）…37
○個別呼び出しを受信する………………………………37
○一斉呼び出しを受信する………………………………37
○個別呼び出しを送信する………………………………38
○鳴音呼び出しを受信する………………………………39
○鳴音呼び出しを送信する………………………………40
○ラジオチェックを行なう ………………………………42
●エマージェンシー信号…………………………………44
○エマージェンシー信号を送信する ……………………44
○エマージェンシー信号をクリアする …………………44

●スキャンを使う……………………………………45
○システムスキャンを開始する……………………45
○システムスキャンを停止する……………………46
○オートスキャンを開始する………………………47
○オートスキャンを停止する………………………47
○不要チャンネルを削除する………………………48
○削除チャンネルをスキャンリストに戻す………48
○スキャンリストを編集する………………………49
○チャンネルを追加または削除する………………49
○チャンネルに優先順位を設定する………………51
●アラートトーンを設定する………………………54
○アラートトーンのオン／オフ……………………55
○キーパッドトーンのオン／オフ…………………56
○アラートトーンの指定……………………………57
○エスカレートアラート……………………………59
●ユーザー設定を行なう……………………………60
○スケルチレベルを設定する………………………61
○出力レベルを設定する……………………………62
○バックライトの明るさを設定する………………64
○ソフトウェアバージョンを表示する……………65
●アフターサービスについて………………………66

注意 取扱説明書中に、下記の 一般 または 簡易 表示がされている場合、その機能および操作はこの表示の種類の無線機に限定されます。

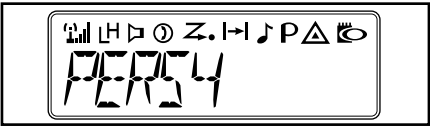
一般 ： 一般業務用無線機の場合に限られます。

簡易 ： 簡易業務用無線機の場合に限られます。

LED表示部

LED表示部では、電源オン、送信、受信、スキャン、モニター状態、話中、鳴音呼出しの送受信、および個別呼出しの送受信などの状態を表示します。

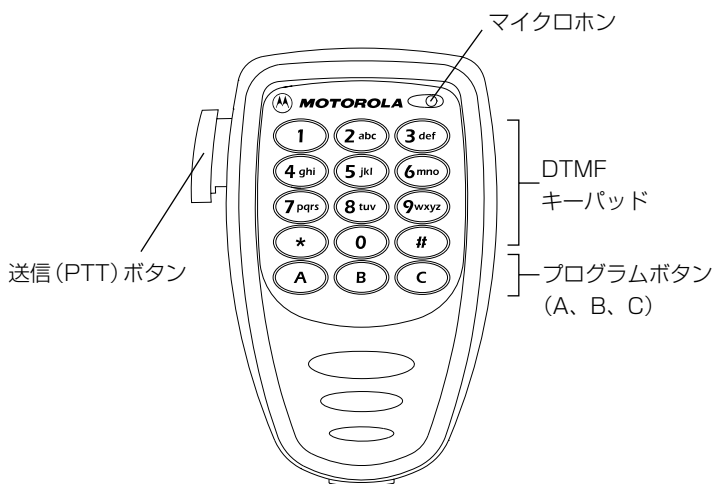
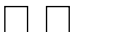
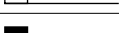
LED状態/色	状　態
無線機呼出し	
赤点灯	送信中
赤点滅	受信中
赤点滅	話中
スキャン	
緑点滅	スキャン中
鳴音呼出し	
黄点滅	鳴音呼出し受信中
黄点灯	鳴音呼出し送信中
個別呼出し	
黄点滅	個別呼出し受信中
黄点灯	個別呼出し送信中
モニター/スケルチ解除	
黄点灯	モニター中

表示部

上の行はメニューと無線機の状態を表示します。

記　号	表　示
受信信号強度	縦棒の数が多いほど、無線機の受信信号が強いことを示します。 （電波を受信している時のみ表示されます。）
LH 出力レベル	ローパワー（L）またはハイパワー（H）で作動中です。
モニター	選択されたチャンネルはモニター中です。
スキャン	スキャンが起動中です。
優先順位1のスキャン （●点滅）	スキャンが終了し、優先順位1の有効なチャンネルへ切り換えたことを示します。
優先順位2のスキャン （●点滅しない）	スキャンが終了し、優先順位2の有効なチャンネルへ切り換えたことを示します。

記　号	表　示
⇥ 直接通話	直接通話モードを表示します。
♪ 受信	鳴音呼出しまたは個別呼出しを受信しました。
P	使用していません。
△ エマージェンシー	エマージェンシー信号を送信しています。

キーパッドマイクロホン (RMN5029)オプション

直接入力用キーパッド内蔵のキーパッド（Dual Tone Multi Frequency）マイクロホンをご使用の場合、マイクロホンのキーパッドの下に、3つのプログラムボタン（A、B、C）が備えられています。これらのボタンを設定することで、指定の機能を手軽に使用することができます。

それぞれのボタンを使って、数個の異なる文字を入力することができます。たとえば、「C」を入力するときは 2abc ボタンを3回押します。（「キーパッドマイクロホンによる文字入力」の表を参照してください。）

キーパッドマイクロホンによる文字入力

ボタンを押す回数					
ボタン	1	2	3	4	5
0	0				
1	1	/	\		
2 abc	A	B	C	2	
3 def	D	E	F	3	
4 ghi	G	H	I	4	
5 jkl	J	K	L	5	
6 mno	M	N	O	6	
7 pqrs	P	Q	R	S	7
8 tuv	T	U	V	8	
9 wxyz	W	X	Y	Z	9
*	*	<	>		
#	#	+	−	_	

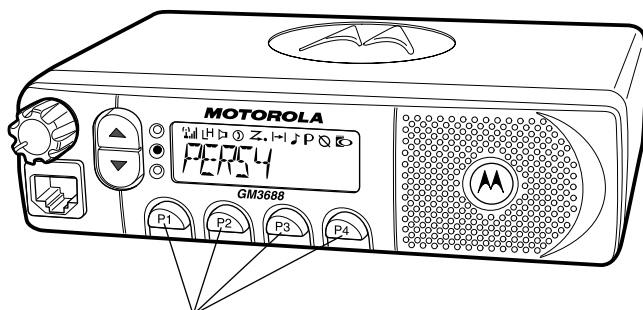
インジケータートーンの種類

ハイピッチトーン（ピッ音）□　ローピッチトーン（ブー音）■

□ □	セルフテスト正常　（ピピッ）
■■■■	セルフテスト異常　（ブー）
□ □	ポジティブ インジケータトーン（ピピッ）
□	ネガティブ インジケータトーン（ピッ）
□	キー操作正常　（ピッ）
■	キー操作異常　（ブッ）

プログラムボタンを使用する場合、インジケータトーンは以下を表します。

プログラムボタン	ポジティブインジケータトーン	ネガティブインジケータトーン
スキャン	**スキャン開始**	**スキャン停止**
出力レベル	**ハイパワー**	**ローパワー**
スケルチ	**深い**	**標準**
VOX機能	**VOX機能はオン**	**VOX機能はオフ**
モニター/スケルチ解除	—	**スケルチ解除はオン**
ホーム復帰メモリーチャンネル（1&2）	—	**ホーム復帰メモリーチャンネルはオン**
メモリーチャンネル（1&2）	—	**登録**
メニューモード P2	—	**メニューモードオン**
スキャンリストの編集	—	**編集モードオン**
エスカレートアラート	**エスカレートアラートはオン**	**エスカレートアラートはオフ**

プログラムボタンを使う

プログラムボタン

無線機には4つのプログラムボタンがあります。販売店で、これらのボタンに各種機能のショートカットを設定することができます。ご使用の無線機がサポートしている機能については、お買い求めの販売店にご確認ください。

プログラムボタンには、P1、P2、P3、P4 の 4 種類があります。これらのボタンは、押し方に応じて最大 2 種類の機能へショートカットができます。

＜ボタンの押しかた＞

- **短押し**

  プログラムボタンを短時間押す操作

- **長押し**

  プログラムボタンを一定時間押したままの状態にする操作（設定時間または初期設定の1.5秒間）

- **ホールド**

  状態確認または調整を行う間、プログラムボタンを押したままの状態にする操作

＜初期設定＞

P1

短押し：モニターオン／オフ、スケルチオン（解除停止）

長押し：スケルチ解除

P2～P4

短押し：未設定

長押し：未設定

注） 長押し操作時の動作までの設定時間は1.5秒間です。

プログラムボタンに機能を設定した場合は、ボタン番号と押し方、機能名をあらかじめ控えておいてください。

プログラムボタンの機能

プログラムボタンを使って以下の設定された機能へのショートカットができます。

<table>
<tr><th>機　能</th><th>インジケーター</th><th>短　押　し</th><th>長　押　し</th><th>ホールド</th></tr>
<tr><td>メニューモード</td><td>—</td><td colspan="2">(P2) ボタンでメニューモードに入ってメニューを選択します。
(P1) ボタンは自動的にメニューモード停止ボタンに設定されます。*</td><td>—</td></tr>
<tr><td>モニター*</td><td></td><td>モニター操作の切り換えを行います。（スケルチ解除の場合はそれをオフします。）</td><td>スケルチを解除します。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>中継局/直接通話 一般</td><td></td><td colspan="2">中継局または相手局との直接通話に切り換えます。*</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ホーム復帰メモリーチャンネル（1&2）</td><td>—</td><td>ダイレクトにメモリーチャンネルへ復帰します。</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>メモリーチャンネル（1&2）</td><td>—</td><td>—</td><td>現在のチャンネルを記憶します。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>VOX機能（音声による送信操作）</td><td>—</td><td colspan="2">VOX機能のオンとオフを切り換えます。*</td><td>—</td></tr>
<tr><td>個別呼出し</td><td>—</td><td colspan="2">直接、設定された通話メニューへアクセスします。*</td><td>—</td></tr>
</table>

＊ ボタンの短押しまたは長押しのどちらでもこの機能を起動することができます。

＊ モニターについては、プログラムボタン（P1）に初期設定されています。

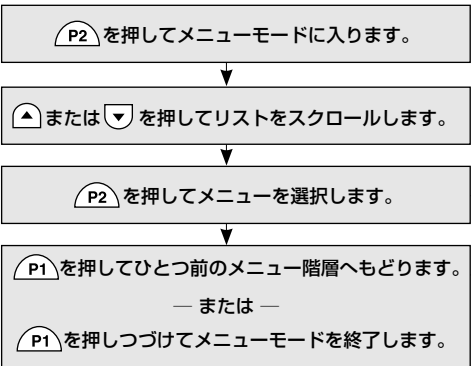
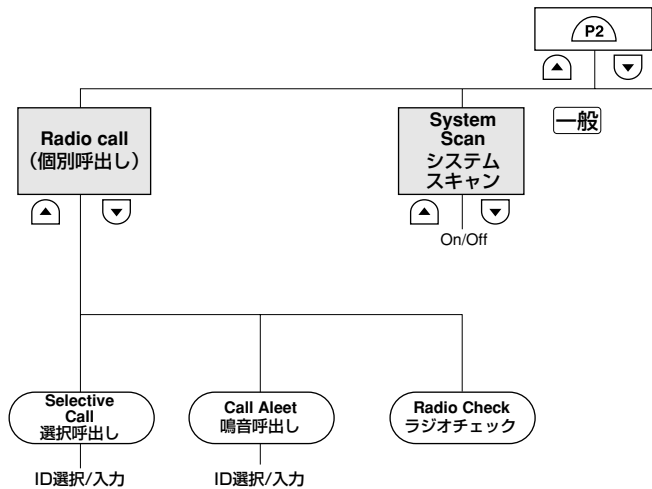
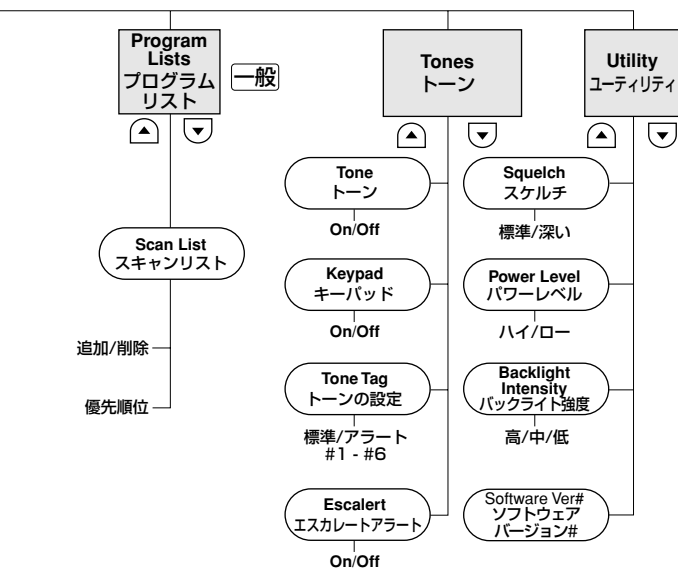
機　能	インジケーター	短　押　し	長　押　し	ホールド
チャンネルスキャン 一般	Z	スキャンのオンとオフを切り換えます。	—	—
スキャンリストの編集 一般	—	スキャン編集メニューへダイレクトにアクセスしてチャンネルの追加、削除または優先順位の設定を行います。*		—
エスカレートアラートオン/オフ	—	エスカレートアラートのオンとオフを切り換えます。*		—
スケルチ	—	スケルチレベルを深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。*		—
出力レベル	LH	ハイパワーレベルとローパワーレベルの切り換えを行います。* H：ハイパワー L：ローパワー		—

＊ ボタンの短押しまたは長押しのどちらでもこの機能を起動することができます。

＊ モニターについては、プログラムボタン（P1）に初期設定されています。

メニューナビゲーションチャート

（ページ左下のメニューナビゲーションガイドラインを参照してください。）

Program Lists
プログラムリスト
一般
Tones
トーン
Utility
ユーティリティ
Scan List
スキャンリスト
追加/削除
優先順位
Tone
トーン
On/Off
Keypad
キーパッド
On/Off
Tone Tag
トーンの設定
標準/アラート
#1 - #6
Escalert
エスカレートアラート
On/Off
Squelch
スケルチ
標準/深い
Power Level
パワーレベル
ハイ/ロー
Backlight Intensity
バックライト強度
高/中/低
Software Ver#
ソフトウェアバージョン#

または を押してサブリストをスクロールします。
P2 を押してサブメニューモードを選択します。

メニューボタンの種類

メニューボタン

お買い求めの販売店にて、プログラム機能に加えて、メニューモードの起動とメニュー選択（ P2 ）およびメニューモードの停止（ P1 ）を無線機前面のボタン（ P1 と P2 ）に設定することができます。
メニューモードの起動には、 P2 ボタンの短押しまたは長押しのどちらも設定できます。

メニュースクロールボタン

メニューのスクロールに使用します。

メニューで選択できる機能については、本書に掲載されているメニューナビゲーションチャートを参照してください。

メニュー内を移動する

▲ または ▼ ボタンを使ってメニューをスクロールします。最後の項目を通り過ぎると、先頭の項目に戻ってスクロールします。
必要な項目の位置に来たとき、 P2 ボタンの短押しで項目を選択してサブメニューに入ります。
▲ または ▼ ボタンを使ってサブメニューをスクロールし、 P2 ボタンの短押しで項目を選択します。

メニューを終了する

メニューモード動作中、 P1 ボタンは自動的にメニューモード停止ボタンになります。 P1 ボタンを長押しすると、メニューモードを完全に終了させることができます。また P1 ボタンを連続して短押しすると、サブメニューを終了します。
ボタンから何も入力しないまま一定の時間が経過した場合や、選択した後に何も入力しなかった場合に、無線機はメニューモードを終了します。
メニューモードを終了すると、 P1 と P2 ボタンは通常の設定状態に戻ります。

ホーム復帰メモリーチャンネル（1&2）を起動する

ホーム復帰メモリーチャンネル機能によって、一回のボタン操作で希望するチャンネルのうち最高 2 チャンネルまで瞬時に復帰することができます。
ホーム復帰メモリーチャンネル1用に設定されたボタン、またはホーム復帰メモリーチャンネル2用に設定されたボタンを押します。

メモリーチャンネル（1&2）を設定する

メモリーチャンネル（1&2）登録機能によって、ホーム復帰メモリーチャンネル機能用のチャンネルを記憶することができます。
▲ または ▼ ボタンを押して希望のチャンネルを選択します。メモリーチャンネル1用に設定されたボタン、またはメモリーチャンネル2のボタンを押してチャンネルを記憶させます。

VOX機能を使う

ハンズフリー操作をおこなう場合、無線機に接続されている音声操作用の外付けマイクロホンを通して、VOX機能により音声だけで無線機から送信をおこなうことができます。

あらかじめVOX機能選択用に設定したボタンを押して、VOX機能を有効にします。

送信（PTT）ボタンを押すと、VOX機能は無効になります。

VOX機能用に設定したチャンネルを選択してVOX機能を有効にします。

・ VOX機能ボタンを押す必要はありません。
・ 送信（PTT）ボタンを押すと、VOX機能は無効になります。

VOX機能用チャンネル以外のチャンネルを選択してVOX機能を無効にします。

無線機の各種呼び出し

個別呼び出しを受信する♪

個別呼び出しを受信した場合：

- 表示部に "♪" が表示されあらかじめ設定された送信側無線機の名称と個別番号が表示されます。
- 黄色のLEDが点滅します（販売店によって設定済みの場合）。
- ハイピッチトーンが2回聞こえます。（ピピッ）

応答する場合、送信（PTT）ボタンを押して話します。

送信（PTT）ボタンを押したまま話し、または送信（PTT）ボタンを離して音声を聞きます。

個別呼び出しを送信する

販売店によって設定済みの場合、指定の無線機または無線グループに送信することができます。

あらかじめ設定された無線呼出しボタンを押して、ステップ4へ進みます。

- または -

(P2) を押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 RAD CALL が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 RAD CALL を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 SEL CALL が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押すと登録されているコールリストが表示されます。

▲ または ▼ ボタンを押して、コールリストから希望のコールIDを見つけます。

-または -

キーパッドマイクロホンをご使用の場合、キーパッドより直接数字を入力します。

送信（PTT）ボタンを押して送信します。

送信（PTT）ボタンを押したまま話し、または送信（PTT）ボタンを離して音声を聞きます。

終話するとき、メニューモードが終了するまで (P1) ボタンを押しつづけます。

鳴音呼び出しを受信する♪

鳴音呼び出しを受信した場合：

・ 表示部に "♪" が表示されあらかじめ設定された送信側無線機の名称と個別番号が表示されます。
・ 黄色のLEDが点滅します（販売店またはプログラマーによって設定済みの場合）。
・ ハイピッチトーンが4回聞こえます。（ピピピピッ）

応答する場合、送信（PTT）ボタンを押して話します。呼出しをキャンセルする場合、送信（PTT）ボタン以外のボタンを押します。

鳴音呼び出しを送信する

鳴音呼び出しを他の無線機に送信することができます。

あらかじめ設定された個別呼び出しボタンを押して、ステップ4へ進みます。

- または -

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 RAD CALL が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 RAD CALL を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 CALL ALT が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押すと登録されているコールリストが表示されます。

▲ または ▼ ボタンを押して、コールリストから希望のコールIDを見つけます。

-または -

キーパッドマイクロホンをご使用の場合、キーパッドより直接数字を入力します。

送信（PTT）ボタンを押して送信します。

送信（PTT）ボタンを押したまま話し、または送信（PTT）ボタンを離して音声を聞きます。

終話するとき、メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

無線機の各種呼び出し
（簡易グループコードを使用）

全ての無線機は予め販売店にて設定された個別番号をもっています。販売店にて、無線機の『簡易グループコード』が無効と設定された場合には、無線機は単に音声の通信のみとなります。

ここから説明する機能『個別呼び出し』、『鳴音呼び出し』、『ラジオチェック』は、この『簡易グループコード』が有効と設定された場合の説明です。

個別呼び出しを受信する

個別呼び出しを受信したとき、

・ディスプレイは、 CALL REC の表示の後に♪と呼び出しをした無線機の個別番号が表示されます。
・表示ランプは黄色で点滅します。（プログラムで、表示ランプの設定がされている場合）
・受信時には、２回のハイピッチトーンが鳴ります。（ピピッ）
PTTボタンを押して呼び出しに応答します。

一斉呼び出しを受信する

一斉呼び出しを受信したとき、

・ディスプレイは、 FLT CALL の表示をします。
PTTボタンを押して呼び出しに応答します。

個別呼び出しを送信する

販売店でのプログラムの設定によって、任意の無線機または無線グループへ呼び出しを行う事ができます。
また、他の無線機に鳴音呼び出しを送信する事ができます。
あらかじめ設定された個別呼び出しボタンを押し呼び出しを行います。
- または -

(P2) を押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを [RAD CALL] が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、[RAD CALL] を選択します。

▲ または ▼ ボタンを [SEL CALL] が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、[SEL CALL] を選択します。

[簡易]

・ 簡易無線機の場合、[ENTER ID] が表示された後、キーパッドマイクロホンを使用し直接数字（ID）を入力します。

[一般]

・ 一般無線機の場合、コールリストが表示された後、キーパッドマイクロホンを使用し直接数字（ID）を入力します。

補足 有効な個別番号は 4 桁で、最初の 2 桁はグループ番号でその他 2 桁が個別番号となります。

個別番号を入力するとディスプレイに表示されます。

グループ呼び出しを行う場合、グループ番号２桁と“００”の４桁を入力します。例）“１３００”は、グループ番号１３の全ての無線機が呼び出されます。 1300

個別呼び出しを行う場合、２桁のグループ番号と２桁の個別番号を入力します。例）“０２４５”は、グループ番号２に属する個別番号４５の無線機への呼び出しとなります。

0245

一斉呼び出しを行う場合、全ての桁に“００００”を入力します。

0000

送信（PTT）ボタンを押して送信します。

送信（PTT）ボタンを押したまま話します。また送信（PTT）ボタンを離して音声を聞きます。

終話するとき、メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

鳴音呼び出しを受信する

鳴音呼び出しを受信したとき、

・ディスプレイは、 CALL REC の表示の後に♪と呼び出しをした無線機の個別番号が表示されます。
・表示ランプは黄色で点滅します。（プログラムで、表示ランプの設定がされている場合）
・受信時には、４回のハイピッチトーンが鳴ります。（ハイピッチトーンは応答するまで、または５回まで継続します。）
送信（PTT）ボタンを押して呼び出しに応答します。（いずれかのボタンを押すと呼び出し音は解除されます。）

鳴音呼び出しを送信する

任意の無線機に鳴音呼び出しを送信する事ができます。

但し、以下の無線機へは鳴音呼び出しが出来ません。

- 呼び出しを行う無線機と異なるグループ全体への鳴音呼び出し。
- システム全体への鳴音呼び出し。
- 送信する無線機自身への鳴音呼び出し。

あらかじめ設定された鳴音呼び出しボタンを押し呼び出しを行います。

- または -

(P2) を押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを RAD CALL が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 RAD CALL を選択します。

▲ または ▼ ボタンを CALL ALT が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 CALL ALT を選択します。

簡易

・ 簡易無線機の場合、 ENTER ID が表示された後、キーパッドマイクロホンを使用し直接数字（ID）を入力します。

一般

・ 一般無線機の場合、コールリストが表示された後、キーパッドマイクロホンを使用し直接数字（ID）を入力します。

補足 有効な個別番号は４桁で、最初の２桁はグループ番号でその他２桁が個別番号となります。

個別番号を入力するとディスプレイに表示されます。

グループ呼び出しを行う場合、グループ番号２桁と“００”の４桁を入力します。例）“１５００”は、グループ番号１５の全ての無線機が呼び出されます。（送信する無線機はグループ１５でなければなりません。）

1500

鳴音呼び出しを行う場合、２桁のグループ番号と２桁の個別番号を入力します。例）“０５５４”は、グループ番号５に属する個別番号５４の無線機への鳴音呼び出しとなります。

0554

送信（PTT）ボタンを押し鳴音呼び出しを行います。

鳴音呼び出しを行う場合、無線機の表示部には、 CALLING が表示されます。

- 鳴音呼び出しが送信され応答があった場合、無線機には、 ACK が表示されます。
- 鳴音呼び出しが送信され相手からの応答がない場合、４回までリトライを行いますが、それでも応答がない場合には NO ACK が表示されます。

終話するとき、メニューモードが終了するまで (P1) ボタンを押しつづけます。

ラジオチェックを行なう（GM3688のみ）

任意の無線機に“ラジオチェック”信号を送信し、通信圏内にあるかどうかを確認する事ができます。
あらかじめ設定された個別呼び出しボタンを押し呼び出しを行います。
- または -

(P2) を押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを RAD CALL が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 RAD CALL を選択します。

▲ または ▼ ボタンを RAD CHK が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 RAD CHK を選択します。

表示部には ENTER ID が表示された後、キーパッドマイクを使用し、直接数字（ID）を入力します。

有効な個別番号は 4 桁で、最初の 2 桁はグループ番号でその他 2 桁が個別番号となります。

個別番号を入力するとディスプレイに表示されます。

ラジオチェックを行う場合、２桁のグループ番号と２桁の個別番号を入力します。例）“０３６２”は、グループ番号３に属する個別番号６２の無線機へのラジオチェックとなります。

0362

送信（PTT）ボタンを押しラジオチェックを行います。

・送信（PTT）ボタンを押すと、CALLING が表示されます。
・ラジオチェックが送信され、相手より応答があった場合、無線機には、RCK が表示されます。
・ラジオチェックが送信され、相手より応答がない場合、４回までリトライを行いますが、それでも応答がない場合には NO RCK が表示されます。

終話するとき、メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

エマージェンシー信号 △

ご使用の無線機は、エマージェンシー信号送受信の方法を選択することができます。また、エマージェンシー信号を、以下のように設定することができます。

・ △ を表示すると同時にトーンを発します。

- または -

・ 通常表示をさせる

- または -

・ マイクロホンを作動し、（あらかじめ設定された時間）すべての音声を送信します。

注意 あらかじめ上記の設定を行なうことができます。詳細な情報については、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

・ 無線機がエマージェンシー状態にあるときは、 △ を表示します。

エマージェンシー機能はすべて、あらかじめ設定しておく必要があります。利用可能なエマージェンシー機能については、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

エマージェンシー信号を送信する △

付属品のフットスイッチまたは押しボタンを押すと、指定の無線機または指令局へエマージェンシー信号を優先的に送信することができます。

・ 表示部には、 EMER IN が表示されます。

注意 エマージェンシー信号はすべての通話に優先します。

エマージェンシー信号をクリアする

付属品のフットスイッチまたは押しボタンを長押しすると、エマージェンシー信号はクリアされます。

スキャンを使う 一般

ご使用の無線機に搭載されているスキャン機能を使って、チャンネル上で音声をサーチ・追跡し、モニターすることができます。お買い求めの販売店にて、チャンネル別のスキャンリストを設定します。スキャンリストに設定されているチャンネル上で音声を検出すると、無線機は自動的にそのチャンネルに切り換わります。無線機のメニューからスキャンリストを編集することもできます。

・ スキャン動作中は、緑のLED表示部が点滅します。無線機が受信しているチャンネルに切り換わると、LED表示部の点滅は止まります。
・ スキャン動作中は、 が表示されます。

ご使用の無線機では、2種類のスキャン機能が利用できます。

・ システムスキャン
・ オートスキャン

応答する

スキャン動作中に通話に応答することができます。無線機は、スキャン中にチャンネル上で通話を検出すると、一定時間（ハングタイム）そのチャンネルで止まります。このハングタイム中に、送信（PTT）ボタンを押して応答することができます。

注意 通話が止むか、または設定時間内に送信（PTT）ボタンを押さなかった場合に、無線機はスキャンを再開します。無線機がハングタイムにある間、スキャンを示すLED表示部の緑色は点滅しません。

システムスキャンを開始する

スキャン用に設定されたボタンを押してシステムスキャンを開始します。
- または -

▲ または ▼ ボタンを押して、スキャンリストが設定されているチャンネルを選択します。

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 SYS SCAN が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 SYS SCAN を選択します。現在のスキャン状態が表示されます。

▲ または ▼ ボタンを、 SCAN ON が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、現在の設定を選択します。

システムスキャンを停止する

スキャン用に設定されたボタンを押してシステムスキャンを停止します。

- または -

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 SYS SCAN が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、 SYS SCAN を選択します。
現在のスキャン状態が表示されます。

▲ または ▼ ボタンを、 SCAN OFF が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、現在の設定を選択します。
・表示部から、 Z の表示が消えます。

注意 システムスキャンを終了するときは、最後に音声が検出されたチャンネルまたはスキャン開始時のチャンネルに無線機を自動的に復帰させるように、お買い求めの販売店にて設定することができます。

オートスキャンを開始する Z

オートスキャン機能が有効になっているチャンネルを選択すると、自動的にスキャンが開始します。
▲ または ▼ ボタンを押して、お買い求めの販売店にて設定されたオートスキャン用のチャンネルを選択します。

オートスキャンを停止する

▲ または ▼ ボタンを押して、お買い求めの販売店にて設定されたオートスキャン用チャンネル以外のチャンネルを選択します。
・ 表示部から、 Z の表示が消えます。

不要チャンネルを削除する

注意 この機能を使用するには、あらかじめ不要チャンネル削除用のボタンを設定する必要があります。
チャンネルが不要な呼出しまたはノイズ（不要チャンネル）を受信しつづける場合、そのチャンネルを一時的にスキャンリストから外すことができます。

1 無線機が不要チャンネル上に停止している間に、不要チャンネル削除用に設定されたボタンをトーンが聞こえるまで押しつづけます。

2 不要チャンネル削除ボタンを離すと、不要チャンネルは削除されます。

注意 スキャン用に設定されたチャンネル、優先チャンネルやスキャンリストに残る最後のチャンネルを一時的に削除することはできません。

削除チャンネルをスキャンリストに戻す

1 無線機の電源をオフしてからもう一度オンすると、一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。

- または -

2 スキャン用に設定されたボタンを押してスキャンを停止します。

3 もう一度スキャンボタンを押してスキャンを開始すると、一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。

- または -

▲ または ▼ ボタンを押して、あらかじめスキャンリストが設定されていないチャンネルを選択すると、スキャンは停止します。再度、元のチャンネルに戻ると、一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。

スキャンリストを編集する

ご使用の無線機は、最大16件までのスキャンリストの設定が可能です。それぞれのスキャンリストは、最大16チャンネルまで設定することができます。同じチャンネルを複数のスキャンリストに登録したり、同じスキャンリストを複数のチャンネルに設定したりすることも可能です。チャンネル別のスキャンリストは、お買い求めの販売店で設定されます。チャンネルを追加・削除する場合や、チャンネルに優先順位を設定する場合に、スキャンリストを編集します。

注意 スキャンリストの編集中、無線機は受信することができません。

チャンネルを追加または削除する

▲ または ▼ ボタンを押して、編集したいスキャンリストが設定されているチャンネルを選択します。

P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 PROG LST が表示されるまで押しつづけます。

4. (P2) ボタンを押して、 PROG LST を選択します。

5. ▲ または ▼ ボタンを、 SCAN LST が表示されるまで押しつづけます。

注意 1チャンネルにつき1件のスキャンリストのみ使用できます。

6. (P2) ボタンを押して、 SCAN LST を選択します。

7. ▲ または ▼ ボタンを、 ADD ITEM または DELETE が表示されるまで押しつづけます。

8. (P2) ボタンを押して現在の設定を選択します。

9. ▲ または ▼ ボタンを、追加または削除したいチャンネルが表示されるまで押しつづけます。

10. (P2) ボタンを押して選択を確定します。

11. チャンネルを追加した場合は、 ADDED が表示されます。

- または -

チャンネルを削除する場合は、 DELETE が表示されます。

P2 ボタンを押して削除を確定します。DELETED が表示されます。

P1 ボタンを押して ADD ITEM または DELETE の表示に戻ります。

メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

チャンネルに優先順位を設定する

他のチャンネルより頻繁にスキャンしたいチャンネルに優先順位を設定することができます。

優先チャンネル	スキャンの順番
指定なし	Ch1→Ch2→Ch3→Ch4→...Ch1
チャンネル2（優先順位1）	Ch2→Ch1→Ch2→Ch3→Ch2→Ch4→Ch2→...Ch1
チャンネル2（優先順位1）およびチャンネル8（優先順位2）	Ch2→Ch1→Ch8→Ch3→Ch2→Ch4→Ch8→...Ch1

注意 非優先チャンネルの受信中に優先チャンネルが受信した場合、無線機は自動的にその優先チャンネルに切り換わると同時に、短いトーンを鳴らします。

優先チャンネルを設定する

注意 複数のチャンネルに同じ優先順位を設定することはできません。

P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 PROG LST が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、 PROG LST を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 SCAN LST が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、 SCAN LST を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 EDIT PRI が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、 EDIT PRI を選択します。

▲または▼ボタンを、[PRI #1]または[PRI #2]が表示されるまで押しつづけます。

P2ボタンを押して設定したい優先順位を選択します。現在の優先チャンネルが表示されます。

▲または▼ボタンを、優先したいチャンネルが表示されるまで押しつづけます。

P2ボタンを押してチャンネルに優先順位を設定します。
[SAVED]が表示されます。

P1ボタンを押して[EDIT PRI]の表示に戻ります。

メニューモードが終了するまでP1ボタンを押しつづけます。

アラートトーンを設定する

無線機のメニューからユーザー設定にアクセスして、ご使用の無線機のアラートトーンを変更することができます。

P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 TONES が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、 TONES を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、変更したい機能が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して変更したい機能を選択します。選択した機能の現在の設定が表示されます。

▲ または ▼ ボタンを押して利用可能な設定がスクロールできます。

P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。

メニューモードが終了するまで Ⓟ1 ボタンを押しつづけます。

トーンの設定

機　能	動　作	設　定
アラートトーン	すべてのアラートトーンをオンまたはオフします。	ON OFF
キーパッドトーン	キーパッドトーンをオンまたはオフします。	ON OFF
アラートトーンの指定	特定の種類の無線呼出しに対して特定の呼出音を設定します。	STANDARD ALERT　1-7
エスカレートアラート	無線呼出しに対して応答がない場合にアラームトーンのボリュームを大きくします。	ON OFF

アラートトーンのオン/オフ

ご使用の無線機のアラートトーンをすべてオンまたはオフすることができます。

Ⓟ2 ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 TONES が表示されるまで押しつづけます。

Ⓟ2 ボタンを押して、 TONES を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 TONE が表示されるまで押しつづけます。

5 (P2) ボタンを押して、 [TONE] を選択します。

6 ▲ または ▼ ボタンを、 [ON] または [OFF] が表示されるまで押しつづけます。

7 (P2) ボタンを押して希望の設定を選択します。

キーパッドトーンのオン/オフ

ご使用の無線機のキーパッドトーンをすべてオンまたはオフすることができます。

注意 プログラムボタン（(P1)、(P2)、(P3)、(P4)）をオフすることはできません。

1 (P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

2 ▲ または ▼ ボタンを、 [TONES] が表示されるまで押しつづけます。

3 (P2) ボタンを押して、 [TONES] を選択します。

4 ▲ または ▼ ボタンを、 [KPD TONE] が表示されるまで押しつづけます。

5 (P2) ボタンを押して、 KPD TONE を選択します。

6 ▲ または ▼ ボタンを、 ON または OFF が表示されるまで押しつづけます。

7 (P2) ボタンを押して希望の設定を選択します。

アラートトーンの指定

個別呼び出しや鳴音呼び出しを受信したときに、指定のアラートトーンを鳴らすように無線機を設定することができます。

注意 リストから 7 種類のアラートトーンが選択できます。

1 (P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

2 ▲ または ▼ ボタンを、 TONES が表示されるまで押しつづけます。

3 (P2) ボタンを押して、 TONES を選択します。

4 ▲ または ▼ ボタンを、 TONE TAG が表示されるまで押しつづけます。

5 P2 ボタンを押して、 TONE TAG を選択します。

6 ▲ または ▼ ボタンを、 CALL ALT または SEL CALL が表示されるまで押しつづけます。

7 P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。

8 ▲ または ▼ ボタンを、この種類の呼出に使用したいトーンが聞こえるまで押しつづけます。

9 P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。 TONE SET が表示されます。

10 P1 ボタンを押して TONE TAG の表示に戻ります。

11 メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

エスカレートアラート

無線呼出しに対して応答がない場合にアラートトーンのボリュームを大きくするように、ご使用の無線機を設定することができます。
あらかじめ設定されたエスカレートアラートボタンを押してステップ5へ進みます。

- または -

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 [TONES] が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 [TONES] を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 [ESCALERT] が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 [ESCALERT] を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 [ON] または [OFF] が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して希望の設定を選択します。

ユーザー設定を行なう

ご使用の無線機のメニューからユーザー設定にアクセスして、無線機の機能を変更することができます。

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 UTILITY が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 UTILITY を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、変更したい機能が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、変更したい機能を選択します。選択した機能の現在の設定が表示されます。

▲ または ▼ ボタンを押して、利用可能な設定を表示します。

(P2) ボタンを押して希望の設定を選択します。

ユーティリティ機能

機　能	動　作	設　定
スケルチ	無線機のスケルチを深いレベルまたは標準レベルに変更します。	TIGHT（深い） NORMAL（浅い）
出力レベル	無線機の出力レベルをハイまたはローに変更します。	HIGH LOW
バックライト	バックライトの明るさを変更します。	HIGH（明） MED LOW（暗）
ソフトウェア	無線機のソフトウェアバージョンを表示します。	XX'XX'XX

スケルチレベルを設定する

スケルチ機能を使って無関係な（不要な）ノイズやバックグラウンドノイズを取り除くことができます。ただし、スケルチを深いレベルに設定すると、遠隔地からの通信も同じように排除される可能性があります。このような場合、スケルチを標準レベルに設定することをお薦めします。あらかじめスケルチレベル選択用に設定したボタンを押して、スケルチの設定を深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。

- または -

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 UTILITY が表示されるまで押しつづけます。

(P2) ボタンを押して、 UTILITY を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 SQUELCH が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、 SQUELCH を選択します。

▲ または ▼ ボタンを、 NORMAL または TIGHT が表示されるまで押しつづけます。

P2 ボタンを押して、現在の設定を選択します。

出力レベルを設定する

無線機の各チャンネルの送信出力レベルはあらかじめ設定されています。この設定を以下のように選択することができます。

・ ハイパワー（H）
・ ローパワー（L）

ハイパワーまたはローパワーを選択すると、HまたはLが表示されます。

パワー選択用に設定されたボタンを押して、ハイパワーまたはローパワーに切り換えます。

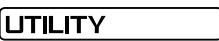
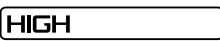
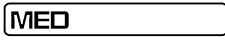
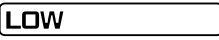
- または -

P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。

▲ または ▼ ボタンを、 UTILITY が表示されるまで押しつづけます。

3 P2 ボタンを押して、 UTILITY を選択します。

4 ▲ または ▼ ボタンを、 PWR LVL が表示されるまで押しつづけます。

5 P2 ボタンを押して、 PWR LVL を選択します。

6 ▲ または ▼ ボタンを、 HIGH または LOW が表示されるまで押しつづけます。

7 P2 ボタンを押して、現在の設定を選択します。

注意 出力レベル選択を行う場合は、それぞれの出力の免許が必要となります。

バックライトの明るさを設定する

バックライトの明るさを調整します。

(P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。

2

▲ または ▼ ボタンを、 UTILITY が表示されるまで押しつづけます。

3

(P2) ボタンを押して、 UTILITY を選択します。

4

▲ または ▼ ボタンを、 BKLT INT が表示されるまで押しつづけます。

5

(P2) ボタンを押して、 BKLT INT を選択します。

6

▲ または ▼ ボタンを、 HIGH 、 MED 、または LOW が表示されるまで押しつづけます。

7

(P2) ボタンを押して、現在の設定を選択します。

ソフトウェアバージョンを表示する

ご使用の無線機のソフトウェアバージョンを表示します。

P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。

2

▲ または ▼ ボタンを、 UTILITY が表示されるまで押しつづけます。

3

P2 ボタンを押して、 UTILITY を選択します。

4

▲ または ▼ ボタンを、 SOFTWARE が表示されるまで押しつづけます。

5

P2 ボタンを押して、ソフトウェアバージョンを確認します。

6

メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

アフターサービスについて

無線機は定期的に、お買い上げの販売店で点検されることをおすすめします。

(1)保証期間について

無線機本体

保証期間は、お客様が運用を開始された日より2年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店へご連絡ください。修理規定に基づき、無償で修理いたします。

(2)保証期間経過後の修理

お買い求めの販売店にて修理(有料)いたしますのでご相談ください。

お買い求めの販売店をご記入ください。
お客様が保証をお受けになる重要な窓口です。必ずご記入ください。

ご購入日　　　年　　月　　日

製品およびアクセサリ等についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

モトローラ・ビジネスユニット

カタログ等のお問い合わせは、
モトローラ・カスタマーセンターへ　0120-549-533
ホームページ……http://motorola-bizunit.jp

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」（日本）及び「米国輸出管理規制」による規制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

発行元　株式会社スタンダード　東京都目黒区中目黒4-8-8

6815165H01-B

JM-1